

秋田市教育委員会
会 議 録

令和2年2月定例会

秋田市教育委員会令和2年2月定例会会議録

- 1 日 時 令和2年2月12日(水)
午後3時30分～午後5時10分
- 2 場 所 5-A会議室
- 3 出席委員 教育長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員
- 4 出席職員 教育次長
教育次長
学校適正配置推進室長
総務課長
学事課長
学校教育課長
教職員室長
教育研究所長
学校適正配置推進室参事
生涯学習室長
総務課長補佐
総務課副参事
学事課長補佐
学事課副参事
生涯学習室長補佐
生涯学習室副参事
総務課主席主査
総務課主席主査
教育研究所主席主査
総務課主査
学校教育課主査
総務課主任
総務課主任
総務課主事

5 議 題

【協議事項】

- (1) 令和2年度当初予算（案）に関する件について
- (2) 令和元年度2月補正予算（案）に関する件について

【教育長等の報告】

- (1) 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果について
- (2) 学校適正配置の取組状況等について
- (3) 令和4年度以降の「成人のつどい」について

6 議 事 午後3時30分開会

【令和2年1月定例会会議録の承認】

令和2年1月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【非公開の議決】

教育長 協議事項(1)および(2)は、今後議会に提出され、審議される案件となっている。現段階では公の場で審議した場合、事務局の説明や、我々を含め出席者の発言が制約されることにより、十分な審議ができなくなるおそれがある。

したがって、これらの案件については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項ただし書の規定により、秘密会として取り扱うこととし、日程の最後に審議したいと思うがどうか。

※ 以上の発議があり、全員賛成により議決した。

【教育長等の報告】

- (1) 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果について

教育長 報告(1)「令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調

- 査における秋田市の結果について」、事務局から説明願う。
- 教育研究所長 (資料に基づき説明)
- 委員 中学2年生女子の結果は、昨年度と比較してどうか。
- 教育研究所長 昨年度も、今年度と同様に、多くの種目で全国平均を下回っていた。総合得点のT得点(偏差値)では、昨年度は49.0ポイント、今年度は48.8ポイントであり、どちらも約1ポイント全国平均を下回っている。
- 委員 小・中学校では、昨年度の結果を踏まえて、何か取組をしたのか。
- 教育研究所長 本市では、子どもが持つ力を引き出すことが大事であるという考えのもと、本市の状況と課題について、指導主事が年度当初の教科研究会総会で体育の教員に説明した。また、今年度の調査に向け、有効な事前の準備運動や調査のポイントについて指導した。加えて、学校訪問指導の際、各学校の体育の課題について指導を行った。
- 委員 毎年度、結果を受けて対策をしていると思うが、思うように成果が出ていない印象を受けるため、これまでと違う取組が必要かもしれない。子どもたちができるだけ楽しんで運動に取り組めるようにしてほしい。
- 教育研究所長 今年度は、走ることについて指導する際の留意点や、例年全国平均を下回っているハンドボール投げの距離を伸ばすにはどうすればよいか等、体育の指導の細かなポイントを、教員と共有した。来年度は、そのポイントをもとに、体育の指導を充実させていきたい。
- 委員 学校だけでなく、保護者にも何か働きかけが必要なのではないか。
- 教育研究所長 保護者との連携は欠かせないことであると感じている。本市は、運動やスポーツをすることが好きな子どもが多いので、体育の授業を切り口にしながら、保護者と連携していきたい。
- 委員 実技に関する調査結果を見ると、おおむね全国平均を上回っており、良いと思う。ただ、全国平均と比較してしまうと、どうしても全国平均を下回っている種目が気になる。全国平均を下回っている種目は、毎年度似ているので、対

策を立てやすいと思うが、特効薬のような対策はないと思う。これまでの取組を地道に継続していく必要があるのではないか。

質問紙の調査結果を見ると、スポーツが好きな子どもが多く、好感が持てた。しかし、運動時間については、一部で全国平均を下回っている結果があり、「運動は好きだが、時間が取れない」という状況なのではないかと思う。特に中学生は、勉強もあり、運動の時間を取りにくいのではないか。

教育研究所長 本市の教員は、体育的行事に向けて練習会を行ったり、業間運動を実施するなど、運動の質を上げる工夫をしている。その成果もあり、子どもたちの運動に対する意識が高くなっていると感じるので、このような工夫は継続していきたい。課題となっている種目については、今後も分析を進め、少しずつ改善を図っていきたい。

委員 質問紙調査結果の「運動習慣について」を見ると、中学校男子および中学校女子ともに運動時間が全国平均を下回っているが、中学校の部活動の時間は、調査対象に入っているか。

教育研究所長 部活動の時間も調査対象である。
本市では、多忙化防止の観点から、部活動の時間をルール決めしており、部活動での運動時間が減少している。

教育長 部活動の時間の減少は、全国的な傾向なのではないか。

教育研究所長 そのとおりである。全国的に減少傾向にあり、本市でも減少している。

委員 運動時間が全国平均を下回っている原因として、生徒の運動部離れは考えられるか。

教育長 生徒の運動部への加入率はどうか。

学校教育課長 平成29年から平成31年までにかけて、毎年約1%ずつ減少している。しかし、文化部への加入率が増えているわけではなく、部活動に所属しない生徒が増えている。

委員 運動時間減少の要因として、部活動に所属しない生徒の増加も考えられるということか。

学校教育課長 そのとおりである。

また、体を動かして遊ぶ時間については、秋田の気候を考えると、どうしても全国平均を下回ってしまうと思われる。

教育長 小学生のスポーツ少年団への加入率はどのくらいか。
学校教育課長 29年度が26%、30年度と31年度が23%であり、減少傾向にある。

委員 運動時間については、部活動やスポーツ少年団に加入している子どもとそうでない子どもで二極化している。

調査結果について、本市は、体育の授業が好きな子どもが多く、これまでの指導の工夫が実を結んだ印象である。

また、今後の取組の「家庭・地域との連携した取組」について、家庭でできる運動の推奨は好ましいと思う。やり方が分かれば、子どもたちも運動しやすいのではないかと。具体的には、どのように取り組んでいくか。

教育研究所長 国が出している全国調査の資料の中に、家庭でもできる軽い運動の例がいくつか紹介されている。この資料を参考に、家庭でできる運動を推奨していきたい。

委員 家庭での取組については、改善の余地があるように感じる。秋田市として、家族で運動ができる場を設けることができればと思う。

教育次長 小学5年生男女および中学2年生男子については、全国平均を下回っている種目が少ないため、対策が立てやすいと思う。一方で、中学2年生女子については、ほぼ全種目で全国平均を下回っているため、学校の授業だけでなく、どのように運動習慣を身に付けていくかが課題となるだろう。

最近、街中にスポーツジムやフィットネスクラブが増えている印象があり、また、気軽にできる運動を掲載しているWebサイトも増えており、「運動をした方がよい」と考えている市民が増えていると思われる。チャレンジデー等も開催されているので、このような活動を通じ、子どもたちが運動するようになれば、市全体で運動に対する意識の向上につながるのではないかと。

今後も、家庭で気軽にできる運動等の情報を学校から発

信しながら、子どもたちの運動意識の向上に努めていきたい。

教育長 運動能力や体力等については、発達段階に応じて発育するポイントが異なるという話を聞いたことがある。生涯にわたり健康づくりをしていく基礎を培うという視点からも、運動習慣の啓発を継続していくことが大切なのではないかと思う。種目ごとの結果も、後からついてくると思われる。

※ 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果については、以上のとおり終了した。

(2) 学校適正配置の取組状況等について

教育長 報告(2)「学校適正配置の取組状況等について」、事務局から説明願う。

学校適正配置推進室参事 (資料に基づき説明)

委員 「学校統合検討委員会」と、中央地域ブロックの小学校の進捗状況に記載のある「小委員会」は、同じようなものなのか。

学校適正配置推進室参事 2つの委員会は、それぞれ違うものである。

まず、「学校統合検討委員会」について説明する。地域協議については、3段階で行う予定である。第1段階の「地域ブロック協議会」で統合の方向性が決定した学校の組合せは、第2段階の「学校統合検討委員会」に進み、当該校の関係者同士で統合の可否を検討するものである。

次に、「小委員会」について説明する。中央地域ブロックでは、第1段階の「地域ブロック協議会」で意見がまとまっておらず、「適正規模でない学校が単独で残る課題を解決すべきではないか」、「子どもの安全を優先し、学区の変更をすべきではないか」という意見が出ている。協議がまだ十分でないことから、一部の協議会委員で小委員会を開き、そこで論点を整理したものについて、次回の地域ブロック協議会で協議するものである。

教育長 西部地域ブロックの中学校と北部地域ブロックの小学校

については、統合案がまとまり、統合の可否を検討する段階に進めるという理解でよいか。

学校適正配置推進室参事 その理解で間違いはない。ただ、西部地域ブロックの小学校と北部地域ブロックの中学校については、統合案がまとまっておらず、地域ブロック協議会を継続する。そのため、両地域では、地域ブロック協議会と学校統合検討委員会を並行して進めていく。

委員 河辺地域について、岩見三内地区から、「協議を拙速に進めないでほしい」という意見があったとのことだが、理由は何か。

学校適正配置推進室参事 現在、岩見三内小・中学校の校舎が併設されていることや、統合された場合、通学距離が遠くなる子どもが出てしまうことが理由として挙げられる。

委員 通学距離に関しては、雄和地区も同様の事情があったが、最終的に小・中学校1校ずつに統合されている。河辺地域では、学校統合について、雄和地域と同じように進めるのは難しいとの意見があるという解釈でよろしいか。

学校適正配置推進室参事 そのとおりである。河辺地域のブロック協議会で、雄和地域の事例も紹介しているが、必ずしも雄和地域の事例が河辺地域に当てはまらないと考える委員もいる。

委員 岩見三内地区の協議会委員は、統合の必要性を認めているのか。

学校適正配置推進室長 学校統合の趣旨等については、理解いただいていると思う。しかし、岩見三内地区については、話し合えるだけ話し合ってみたいという意向があるようである。この意向を受け、河辺地域については、先に説明した進め方で協議していく方向である。

教育長 岩見三内地区についての協議は継続していくが、河辺小学校と戸島小学校による段階的な統合について、進められる協議は先に進めていくということか。

学校適正配置推進室長 そのとおりである。

委員 各地域がいかに学校を大切に思っているかが表れていると思う。また、協議会委員の意見を大事にして協議を進めていることが伝わってきた。時間はかかると思うが、あま

り急がずにゆっくり協議を重ねていけば、新たな道筋が見えてくるのではないか。地域の方々が納得する形で意見をまとめてほしい。

教育長 地域ブロック協議会の開催日を見ると、年間を通して、かなりの回数協議を重ねてきたことが分かる。これから地域ブロック協議会と学校統合検討委員会が重なる地域もあり、更に協議の回数が増えると思うが、より丁寧な対応をお願いしたい。

※ 学校適正配置の取組状況等については、以上のとおり終了した。

(3) 令和4年度以降の「成人のつどい」について

教育長 報告(3)「令和4年度以降の『成人のつどい』について」、事務局から説明願う。

生涯学習室長 (資料に基づき説明)

委員 答申についてだが、様々なことに配慮し、よく検討した上で作られたものであると感じた。

18歳を迎えても、飲酒、喫煙およびギャンブルは禁止されており、それらが解禁となる20歳で成人のつどいを開催するのが区切りとしてよいと思った。この答申を踏まえ、議論を進めてほしい。

委員 18歳で成人を迎えることの意義は大切だと思う。20歳で成人を迎えることは、高校生にとっては少し遠い出来事だが、18歳で成人を迎えることは、高校生にとって身近な出来事である。学校で、成人を迎える意義や意味などを教える必要があると感じた。

また、成人のつどいは20歳で開催するのが望ましいとのことだが、18歳で成人を迎える人に、何か成人としての証明になるものを渡すことはできないか。

教育長 18歳で成人を迎える人への対応について、何かイメージはあるか。

生涯学習室長 具体的な内容については今後議論していくが、広報誌等を通じて、広く啓発していくことを考えている。一人ひと

りへの対応については、今後の検討課題としたい。

教育長 「成人のつどい」については、20歳で開催するのが望ましいという答申が出ているが、18歳で成人を迎えた際に自覚してほしいこともある。

委員 高校生のうちに、成人としての責任が伴う出来事が起こる可能性もあるので、18歳で成人を迎えた際に自覚を持てるような啓発をしてほしい。

※ 令和4年度以降の「成人のつどい」については、以上のとおり終了した。

【その他、事務局から】

学事課長 1月定例会の報告(2)「市立高等学校等の入学者選抜志願状況について」で質問のあった、秋田公立美術大学附属高等学院の受検者の県内外の内訳についてだが、同校は既に前後期の選抜を終えており、前期選抜合格者18名のうち、市内は12名、市外は6名である。市外6名のうち、県外は1名で、青森県の方である。

後期選抜の合格者は12名で、市内が8名、市外が4名である。市外4名のうち、県外出身はいなかった。

【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 3月定例会の日程についてお知らせする。定例会は、原則毎月第4木曜日としているが、3月定例会については、教育委員会職員の人事異動などの議案審議が必要となり、議会の会期の関係もあるため、3月18日(水)午後3時30分からを予定している。

また、3月臨時会については、3月2日(月)午後5時からの開催を予定している。

教育長 3月定例会については3月18日(水)午後3時30分から、3月臨時会については3月2日(月)午後5時からの開会を予定している。委員の皆様、日程調整をよろしく願います。

【協議事項】

- (1) 令和2年度当初予算（案）に関する件について
- (2) 令和元年度2月補正予算（案）に関する件について

(協議事項(1)および(2)については、秘密会のため、秋田市教育委員会会議規則第21条の規定に基づき、会議録に記載しない。)

午後5時10分閉会